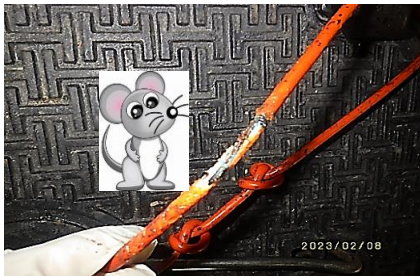




おさらい

事業方針：丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

## 警報です！ 悪臭です！ 汚泥引抜です！ 反面教師です！ ティスポーザー排水処理槽「過去の笑えない・傑作編」 どうして・こうなるの・・・！



1

- ・ 警報です。
- ・ 現場に急行！
- ・ 放流ポンプ漏電警報！
- ・ ポンプ槽の蓋を開けたら、太ったネズミが逃げていく珍事です！
- ・ フロートの電線をカジリ警報でした！



4

- ・ 悪臭の苦情です！ dsp処理槽からです。隣は戸建住宅です。
- ・ 点検業者は何とブロー空気供給停止・？
- ・ 一時、臭気ストップ？ 半年後、再び臭気
- ・ そこで点検ギブアップ！

点検を交代！ HVシステムの導入で臭気ゼロ、汚泥減容・引抜ゼロで問題解決となりました。



2

- ・ 点検受託前 管理会社の要請で調査に現場へ
- ・ 大変です！
- ・ 処理槽は、MHより汚水が漏れて処理槽表面に水垢です。床排水ポンプで放流です。

点検交代、漏れ担体の撤去、ポンプの修理、新スクリーン設置、ブロー運転再開で正常です。

5

- ・ 地下の処理槽から異常な臭いが、調査の依頼で処理槽室へ。
- ・ ポンプフロートは槽外へ、流入・放流ポンプ槽より溢流、点検報告は異常なし・・・？

移行口の閉塞を解除、担体漏れ防止スクリーン設置で正常水位となる。



3

- ・ 調査依頼です。流入ポンプ槽に油脂を堆積し引抜要請ですが・・・。

ここまで油脂を堆積すれば、引抜業者もお手上げ。油脂ゼロポンプ槽に変えて一件落着です。



6

- ・ 汚泥引き抜きです！
- ・ 調査の要請が・・・。
- ・ 30分SVは引抜不要値なのに？
- ・ 沈殿槽に浮上のスカム返送を怠り、スカム堆積を招いた。
- ・ 点検交代、汚泥返送り正常となる。

## 水物語 No128

## 植物と土で発電する技術、それ本当・・・？



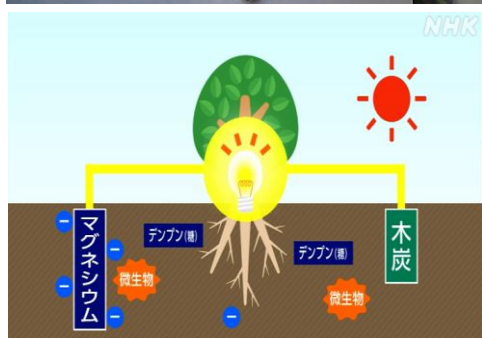
植物と土を使った発電は本当ですか？ と言いたくなりますが、非常に興味深い次世代のエネルギー技術です。

この技術は、植物が光合成で作出した糖分を根っこから土壌に放出します。その糖分を微生物が分解することで電子が生まれます。この電子をマグネシウムの金属板と木炭を使って集め、電気を生成します。この方法は環境に優しく、持続可能なエネルギー源として注目されています。

東京日比谷公園では、植物と微生物の力を利用して「LEDライト」を点灯させる取り組みが行われています。また、スマートフォンの充電にも利用できる技術が開発されており、1時間でバッテリーの20%程度は充電可能とされています。

この持続可能な技術は、特に災害時の非常用電源や「山の上の一軒家」など電力インフラが整っていない地域での利用が期待されています。今後の研究と実用化が進むことで、さらに多くの場面で活用される可能性があります。

今年の夏休みの宿題で「ベランダ菜園」に挑戦しましたが・・・。今度は冬休みの宿題で狭いベランダを整理して、当該装置・自家発電にチャレンジします。首都直下型地震に備えて……………。



特許 油脂ゼロポンプ槽推進中！  
dsp・HVシステム推進中！ クリーンテックサービス東京